

LPIAジェネシスDダイマー、ILB[®] FDP-Pの基礎的検討及び臨床的評価に関する研究

1. 研究の対象

承認日から2020年3月までに当院でケン酸採取管を用いて採血を行い、止血検査を行った結果、APTT短縮やDダイマー・FDP高値となり組織液の混入が疑われた検体を対象とする。

2. 研究目的・方法

LPIAジェネシスDダイマーによる採血管内凝固検体の評価およびがん患者のFDP/Dダイマー比の動態評価が目的である。そのために、意図的に凝固させた検体や凝固していると思われる患者検体を様々な試薬で測定し、試薬毎の特定や臨床的評価を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：加算番号、凝固検査の検査結果等
血液（血清、EDTA血漿、ケン酸血漿等）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 臨床検査科 富岡 篤史

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181（内線6253）

研究責任者：

地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 臨床検査科

臨床検査技師長 井戸田 篤

以上